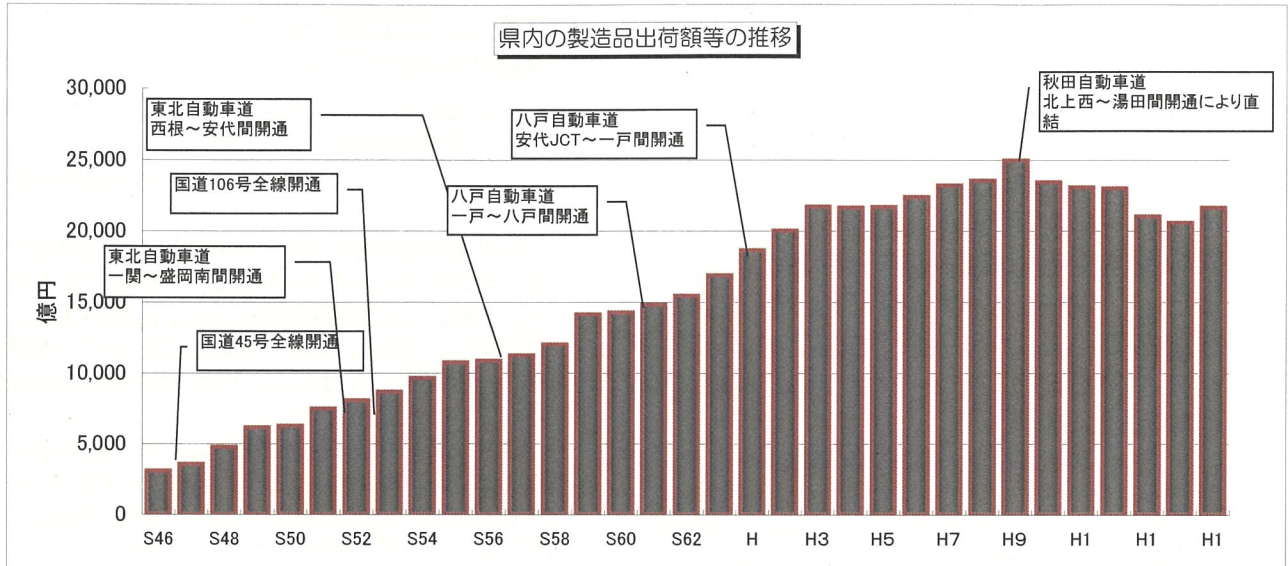


# データウォッチング

本県の社会資本整備の状況等をデータで見るコーナー。今回は、道路整備と製造品出荷額等の関係について、みてみましょう。

下の表をご覧ください。県内の製造品出荷額等は、秋田横断自動車道北上西～湯田間が開通した平成9年まで右肩上がりであり、増加しております。

東北縦貫自動車道をはじめとする道路整備等は、県内の製造品等の物流をはじめとする産業活動を支えています。



出所: 岩手県統計年鑑

## 土木建築作品

Vol. 4 夕顔瀬橋  
YugaoSE-BASHI

県民に親しまれてい  
る文化的価値の高い  
土木建築作品を紹介  
するコーナー

岩手県には南北に流れる大河北上川があり、北上平野を東西に分割しています。四十四田ダム湖にかかる岩姫橋(☉盛岡環状線)から、宮城県に程近い北上川橋(☉花泉藤沢線)までのおよそ180kmの間に、東西の交流や物流を一手に担ってきた県管理の橋梁が26あります。これらの橋群が、昔から人々の暮らしを支え、また人々に愛され、岩手の歴史を築いてきた大事な建築物であるといえるのではないのでしょうか。その中のいくつかをシリーズで紹介します。

### 【夕顔瀬橋】

北上川の夕顔瀬地区は、慶長4年(1599)の盛岡城築城に伴い、盛岡北辺から西の雫石や北の三戸への連絡のための結節点としての交通の要所となりました。船渡しによる運行の後、明暦2年(1656)に土橋が架橋され、明治2年(1869)には、川中に巨石の中島を設けた桁の高い近代的な土橋として架け替えられました。さらに、先代は、内務省直営工事によるカンチレバートラス橋として昭和15年に完成しました。

世界アルペンスキー大会関連ルートの整備の一環として平成5年に完成した現橋は、岩手山と北上川、夕顔の種をモチーフとした作品(盛岡市の彫刻家前田直樹氏制作)を親柱とし、先代の橋の石灯籠や、組み直した石の高欄などをモニュメントとして残しているなど、歴史や景観に配慮されたものとなっています。



「いわての土木遺産100選」((財)岩手県土木技術振興協会発行)